

# うしずチャレンジクラブ 2025 活動報告



広島市青少年野外活動センター・こども村

2026/3/12作成

# 実施概要

## 【目的】

小学校低学年を対象に、集団での宿泊体験の機会を作り、自立を促すとともに、豊かな自然の中で、異学校・異学年の仲間たちや大学生ボランティアスタッフとの出会いや関わり合いを通じて、新たな価値の発見や心の成長を目指す事業です。

また、青少年指導者の育成の場として、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士、カウンセラーなどを目指す学生に対して、子どもたちへの声掛けや関わり方を学ぶための教育実践の機会を提供することも目的としています。

## 【定員・応募者数】

小学1～3年生 30人・応募者 48人

## 【参加者・ボランティアスタッフ】

小学1～3年生 28人・ボランティアスタッフ 15人

## 【告知の方法】

- ・青少年野外活動センター・こども村 WEB サイトへチラシの掲載
- ・青少年野外活動センター・こども村 FACEBOOK へのチラシの掲載
- ・広島市広報誌「市民と市政」へ情報の掲載(令和8年1月15日号)

## 【ボランティア募集案内】

## 【参加者募集案内】



## どんなことをするの？

子どもたちの初めての宿泊体験や新しい友達作りなどの「挑戦」を通じて、宿泊プログラムを企画・運営します。それらを通じて、子どもたちの探し方や教材研究の方法、野外教育の考え方を学びます。



## 野外活動センターってどんなところ？

青少年の自然の中での活動を支援する施設です。自然・人・地域との関わりを通して、青年や子どもたちの「社会性」や「人想いやる心」を育みます。



公益財団法人広島市文化財団  
**広島市青少年野外活動センター・こども村**  
 〒731-1171 広島県広島市安芸区安佐町小河内5135 TEL.082-835-1444  
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/yasai-ac/>

## 青少年野外活動センターでの体験活動

- ◆事前研修◆  
 ①2月 7日(土) 9:30～16:00 予定  
 ②2月 21日(土) 9:30～16:00 予定  
 プログラムを体験したり、子どもたちと接する際の留意点を確認します。企画・運営に必要とするボランティアスタッフでの応募を承ります。降雪により実施までの経路が滞り、開催とならない場合は中止となります。
- ◆本番◆  
 3月 7日(土) 9:00～3月 8日(日) 15:00  
 食事代金・保険料等は施設が負担するため、参加費は集めません。参加申込みをされた方には、事業の参加案内を送ります。施設までの送迎を希望される場合は、職員が最寄りバス停(安佐町御堂バス停)まで送迎に行きます。

- 対象・定員 広島県内の大学・大学院に在籍の学生  
 ・広島県出身の大学生・大学院生 先着20人
- 募集期間 令和7年10月1日～令和8年1月9日
- 申込方法 右の二次元コードから申し込むことができます。参加の可否は別途ご連絡します。



主催：広島市青少年野外活動センター・こども村 〒広島県安芸区安佐町小河内5135 TEL.082-835-1444  
 企画：運営：広島市青少年野外活動センターボランティアスタッフ

## 開催までの流れ

- 2025/10/30 ボランティアミーティング（事業概要の確認）
- 2025/11/6 ボランティアミーティング（企画会議①）
- 2025/11/20 ボランティアミーティング（企画会議②）
- 2025/11/27 ボランティアミーティング（企画会議③）
- 2025/12/1 登録ボランティアスタッフへ募集を案内
- 2025/12/11 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議④）
- 2025/12/18 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑤）
- 2026/1/8 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑥）
- 2026/1/15 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑦）
- 2026/1/22 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑧）
- 2026/1/29 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑨）
- 2026/2/5 ボランティアミーティング（アイスブレイク・企画会議⑩）
- 2026/2/7 第1回事前研修（アイスブレイク・スタッフ顔合わせ・プログラム準備①）
- 2026/2/12 ボランティアミーティング（アイスブレイク・プログラム準備②）
- 2026/2/19 ボランティアミーティング（アイスブレイク・プログラム準備③）
- 2026/2/21 第2回事前研修（プログラム準備④、リハーサル、活動時の留意事項の確認）
- 2026/2/26 ボランティアミーティング（プログラム準備⑤）
- 2026/3/5 ボランティアミーティング（プログラム準備⑥）
- 2026/3/6 前日準備（会場準備・全体打ち合わせ、リハーサル等）
- 2026/3/7～8 実施日

## 当日のスケジュール

3月7日（土）		3月8日（日）	
9:15	スタッフミーティング	6:30	参加者起床
11:00	受付開始	7:00	朝のつどい
11:30	はじめのつどい	7:30	朝食（食堂）・身辺整理
12:15	昼食（持参弁当）	9:00	うしずカラフルクラフト
13:00	春さがし研究所	12:00	昼食（注文弁当）
16:00	入室・夕食（食堂）	13:00	おわりのつどい
18:30	うしずフラワーランド	13:30	参加者解散
20:30	入浴	14:00	スタッフミーティング
21:30	就寝	15:00	スタッフ解散
22:00	スタッフミーティング		

## ボランティアミーティングと事前研修について

### ■ボランティアミーティング(16回)

広島市古市公民館に集まり、企画・打ち合わせを行いました。様々な大学・学年のメンバーが集まっていることから、ミーティングへの参加は強制ではなく、自分のライフスタイルに合わせて参加する形式でスタートしました。

ミーティングはボランティアが中心となって進められ、プログラムの企画では様々な案が集まりました。トップダウンの組織ではないため、できないかもしれない案も、とりあえずやってみよう、みんなのこだわりにスポットライトを当てながら企画を進めました。行動に移すことではじめてわかることもあります。そして、だんだんと、こどもを対象とした内容になりました。



### ■事前研修(2回)

青少年野外活動センターに集まり、現地での企画・打ち合わせを行いました。事前研修は、初めて参加するボランティアスタッフとの顔合わせも兼ねるため、アイスブレイクや仲間作りゲームからはじめました。事前研修はボランティアスタッフにより進められました。本番を想定した指導法やプログラム実施時の留意点などを確認しました。



## 1日目 3月7日(土)

■はじめのつどい 担当：さらび アイสบレイク：こうた おまめ さらび ともき

(内容)

簡単な職員紹介の後は、担当のボランティアスタッフが進行を行い、①みんなで仲良くなるためのアイสบレイク、②テーマソング「にじのむこうに」の紹介、③事業の目的の説明などをしました。



■春さがし研究所 担当：おまめ ゆー れいん ともき よっち まちゃ

(内容)

施設内を班のメンバーと一緒に歩くウォークラリーをしました。こどもたちは地図を持って、自分たちで行き先を決め、途中で休憩を取りながら、施設内に設置された試練に挑戦しました。たくさん歩いた証として、ひとりひとりにペンダントが渡されました。



■入室オリエンテーション 担当：さらび ゆー

(内容)

宿泊棟に移動する前に、こどもたちは宿泊棟での過ごし方やシーツの敷き方などについて説明を受けました。同じ部屋のメンバーと協力してシーツのセットを行いました。夕食は班のメンバーと一緒に食べました。



■うしずフラワーランド 担当：シェフ さらび むぎ すず あかりん

(内容)

研修棟で体を動かすレクリエーションを行いました。仲間で集まったり、みんなで踊ったり、歌ったりしながら、参加者・ボランティアスタッフで交流しました。最後はキャンドルの火を見つめながら、「世界に一つだけの花」の歌を聞きました。ひとりひとりがキャンドルを持ち、楽しかったことを振り返りながら、思い出を共有しました。





## 2日目 3月8日(日)

### ■朝のつどい 担当：さらび

(内容)

起床後、こどもたちは自分でトイレに行き、着替えをし、活動の準備をしました。その後、とんぼ研修室に集まり、ラジオ体操、レクリエーション、歌練習をしました。



### ■うしずカラフルクラフト 担当：いっちー こうた おとちゃん みかん

(内容)

ボンドと塩で手形を作り、絵具で色を付ける手形作りと色画用紙を使った工作をしました。こどもたちの個性あふれる作品がたくさんできました。道具の片付けや部屋の清掃は、お兄さん・お姉さんの力を借りながらも、自分たちで行いました。





■おわりのつどい 担当：さらび こうた ともき  
(内容)

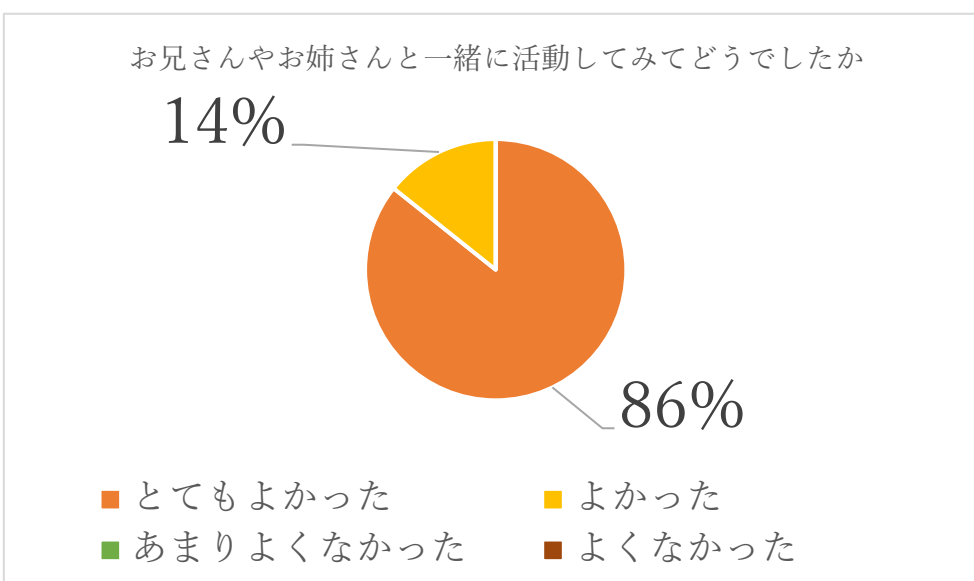
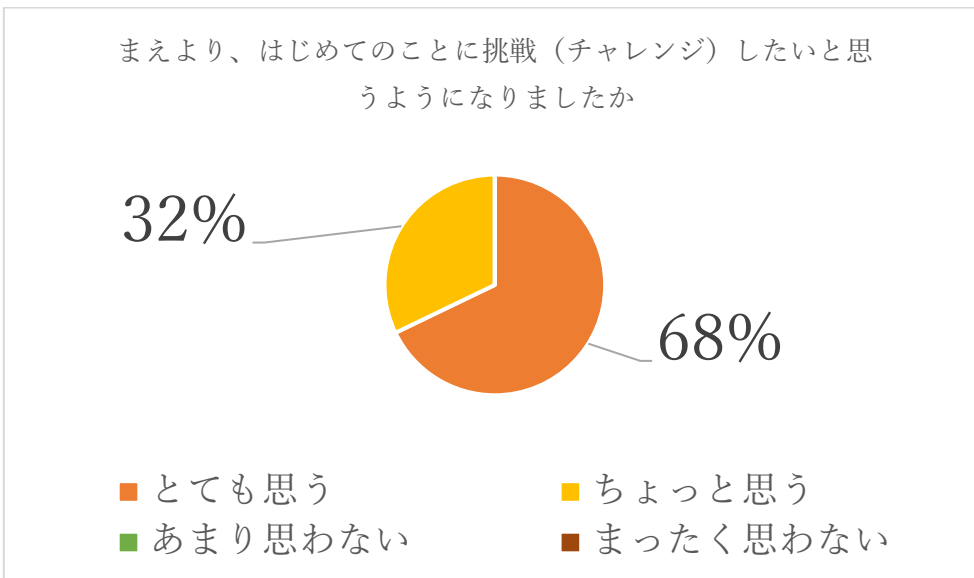
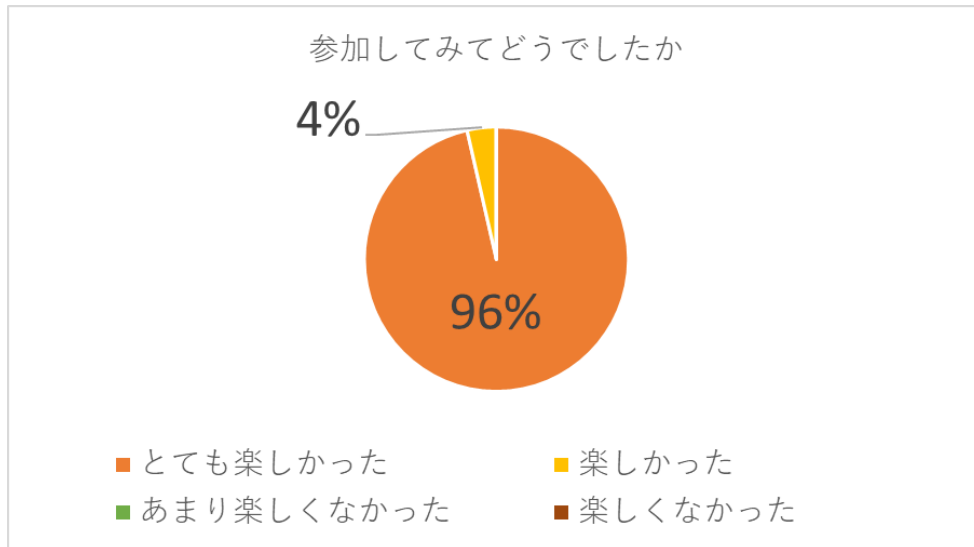
こどもたちの感想を記入した「サクサクシート」で満開となった「成長の木」を見ながら、1泊2日を振り返りました。そして、テーマソング「にじのむこうに」を、みんなで歌いました。最後に、ボランティアスタッフから、メッセージ入りのプレゼントが手渡されました。

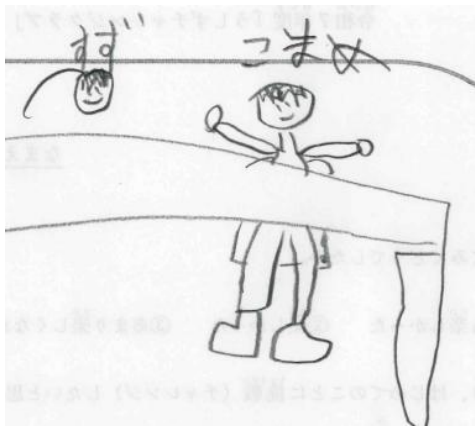


## 「サクサクシート」と「成長の木」について

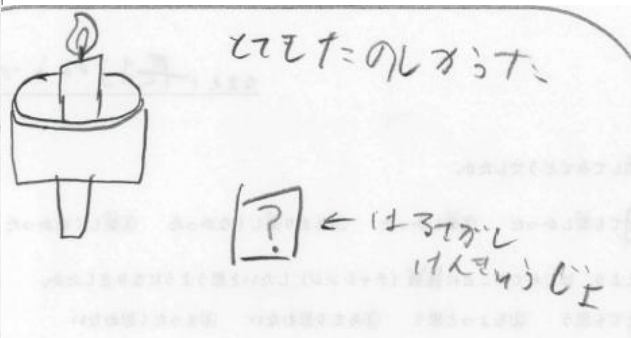
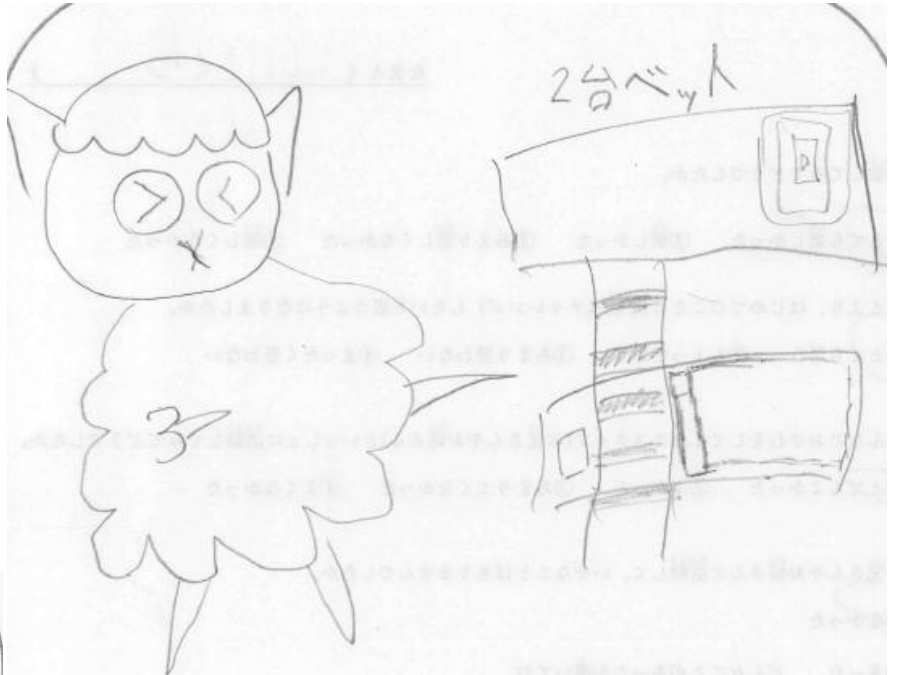
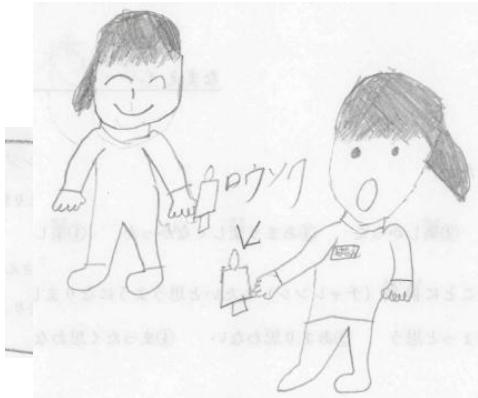
こどもたちの感動や楽しかった気持ちを共有するために、プログラム後に「サクサクシート」を記入しました。「サクサク」には、「咲く」や「桜」など、さまざまな意味が込められています。記入した「サクサクシート」は、落葉した木が描かれた模造紙に貼り付け、みんなで春の花を咲かせようというストーリーのもとに飾りました。花びら一枚一枚に、こどもたちの感動や驚きがたくさん詰まっています。







入浴大そうがおもしろか、た  
いろいろなゲーム



春さがして、みんなできょうかしてしれんや、ク  
イズをのりにえてスタンプラリーなどを全  
部かんせいしたときのた、せいからが、心  
にのこりました。エ作で、そうじや、エ作、み  
んなで力をあわせたら、はやく糸冬あつた、  
キャンドルサービスで、たくさんゲームの  
中の、花きニッキで、ほかのはんよりも、あつ  
て、はやく糸冬あつた、まことに、気持ちを書  
いたときに、みんなたくさん気持ちを書いていたの  
で、すごいと思った。

## 保護者アンケートより（一部をご紹介）

- ボランティアの学生さんが優しく安心してお任せすることができました。
- なかなか寝れなくて、スタッフさんにすごくお世話になったとか、歯磨きも仕上げ磨きまでしてもらったとか (^\_^) みんなと離れるのが悲しいとまで言っています。どのゲームも本当に楽しかった!...と、出てくる話が全部楽しい話ばかり。また参加させたいと思っています。
- 子供がとても楽しく過ごせたようで、ありがとうございます。ボランティアスタッフの方々の企画や、進行のおかげで、初めての宿泊でしたが、不安なく過ごせたようです。たくさん話しかけてくださり、すぐに溶け込めたようです。将来、ボランティアスタッフとして参加したいと言っていました。
- 帰りながら色々話してくれて、帰りたくなかった一とずっと言っていました。たくさんイベントを考えてくださってみたいで退屈することなく楽しく過ごせたみたいです。学校や習い事以外のお友達を短期間で作るの大人でも大変ですが、ボランティアの方々のおかげですんなりと溶け込めたようです。
- 大学生のボランティアの方が中心となり、企画や計画などをしてくださったお陰で子供たちは大変良い経験をすることができました。交流会とみんなで大きなお風呂に入ったことがとても楽しかったそうです。交流会では、猛獣狩りと花咲きによっきが一番楽しかったみたいです。お兄さんお姉さんには、いろいろ教えてもらい役に立ちました。
- はじめつどいでは、親の私も、これから始まる事へワクワクドキドキしてました。気持ちをほぐすためのゲームは、脳トレにもなって、楽しかったし、ボランティアの方の生演奏のピアノ素敵でした。本人いわく、特に楽しかったのは、ウオーラリーと猛獣狩りに行こう！と、キャンドルだったとのことでした。ボランティアスタッフの方々は、お疲れにも関わらず、手書のメッセージまでありがとうございます。また来年も参加したい！！と笑顔で言っております。
- 子供がとても楽しかったようで、帰宅後も元気に話してくれました。活動を通じて自信が付き、一回り成長したように感じます。スタッフの皆様の温かいサポートに心から感謝しております。
- 親から離れて、自然体験や宿泊体験をする機会は限られていて、貴重な経験をさせていただきました。子供にとっても、とても充実したイベントだったようです。学生方にとっても、イベントの立案等良い経験となっているのではないかと感じます。
- 本人は楽しく過ごせて「また行きたい？」と聞くと虫がいなかったら行きたい～とのことでした。思い出の品も飾ってました 🎵 親目線からは大人の数配列が保育園乳幼児並みの人数で安心して預けられました★
- 今回応募したのは、交流や体験を通して家族以外のいろんな人と関わって、集団で過ごしたり自主性を身につけてもらいたいなあ、と思い参加させてもらいました。本人参加する前からとても楽しみにしていました。なるべく親がしないよう(どこに何を入れたのかわからなくなっても本人が困るので)準備も自分で用意し、

当日朝もいつもはなかなか起きませんが、自分から起きてくるほどとても楽しみだったのだと思います。とにかく何もかもが楽しかったようで、特にキャンドルが楽しかったようです。参加される子どもたちが喜んでいただけるように事前準備が大変だったと思いますが、皆笑顔で良い表情をしていました。帰っても最後にいただいたメッセージを見ながらたくさん話をしてくれました。

- 終わってからすぐに、全部楽しかったことを教えてくださいました。何が楽しかった？と聞いても、全部楽しかった！と言いました。困ったことはなかったようだし、ご飯も美味しかったと言っていました。なかなか自分からは外に出て遊ばない子なので自然の中で遊んでもらいたいと願って、本人も少し不安だけどやってみる。と言ったので応募しました。初めてのお友達とも仲良くできる良いところをお兄さんお姉さんに見てもらえたことがお手紙からわかりました。大学生のお兄さんお姉さんが一から企画してくださって、このように最後まで子どものことをみてくださって、感謝しかないです。このような若い人たちがいてくれることが頼もしく思いました。子どもに良い体験をくださって、ありがとうございました。
- 2日間ありがとうございました！1番楽しかったのは工作だそうです。昨年秋に他事業のキャンプにも参加しましたが、「今日の方が楽しかった！またコッチがいい！」と話してくれました。
- 今まで習い事や幼稚園の林間学校で親元を離れてはあったのですが、はじめて知らない子たちと参加して楽しめたことに本当良い経験が出来たと思っています。どれに対しても楽しいと、お姉さん、お兄さんが優しくいっぱいお話したと、普段話下手な娘がと驚きです。こういった経験が今後に役立て、リーダーのお姉さんのように素敵にボランティアに自らできる子になればとも願ってます。
- 親元を離れ1泊過ごしたことは本人の自信になったようです。入浴や起床も1人でできたと話してくれました。大学生と一緒に遊んでくれたり、とても優しくったそうです。お風呂が広がったと喜んでいました。まだ、短い期間で歌やダンスを発表してくれたのでとても驚きました。深夜まで作品も作ってくださりありがとうございました。いただいた写真を見ながら、できたお友達のことを話してくれました。初めて会った人たちと一晩過ごすというのはなかなかできないので、とてもいい経験になったと思います。また来年も参加したい！と子どもからお願いされました。
- 息子もとても楽しかったようで、次も絶対行くといっております。新しい環境に飛び込んでいくことで、自信もついたと思います。とても時間をかけて準備してくださっていますよね。子どもたちが喜ぶにはどうしたらいいんだろうと考えてくださっていたのがいろんなところから感じられ、とても嬉しかったです。おにいさんおねえさんがキラキラしてて素敵でした。私も学生時代にこんな経験しておきたかったなーと羨ましいくらいです。
- とても楽しく過ごせました。特にキャンドルサービスが心に残ったようです。クラフトも楽しかったみたいで家でもやりたい！と言っていました。同じ班の子たちとも仲良くなれて満足気でした。お姉さんのように大きくなったら企画運営側になりたいと夢も出来ました！
- 我が子が帰宅中も帰宅後もずっと話をしているのを聞いていると、とても楽しかった様子が窺えて、親も大変嬉しく思いました。

■このような活動に参加するのは初めてでした。恥ずかしがり屋かつ面倒臭がりな性格なので、嫌がるかもしれないと心配でしたが、お迎え時の笑顔で楽しかったのが分かりました。帰りの車内で「めっちゃ楽しかった」と家に着くまで1時間ずっと、色々な事を細かく教えてくれました。「何が一番楽しかった？」と聞くと「全部」と言いました。夜には「学校へ行きたくない、こども村へ行きたい」と涙を流すほどで、普段は楽しんで学校へ通う娘なので、初めての行きたくない発言に驚きつつ嬉しい悩みでした。ちょうど学校の宿題だった日記は、今回のうしずチャレンジクラブのことを6ページにもわたる今までで一番長い大作を書き上げました。寂しさでしょんぼりしながら書き始めましたが思い出しながらだんだんと笑顔を取り戻し、お風呂上りには”にじのむこうに”を振り付けと共に熱唱するほど元気になりました。

■帰り道の第一声は「楽しかったあ！せっかくみんなと仲良くなれたのに、2日しかないのは時間が短すぎるよ！」本当に楽しい時間を過ごすことができたようです。また、「ぼくが～をしたときにお兄さんがね、...」「お姉さんがね、...」と、ボランティアスタッフの方々の話をたくさんしてくれました。いろいろな場面で話をしてくださったり、助けてくださったりしたことがよくわかりました。そんな助けがあり、自信をもっていろいろなことに前向きにチャレンジできたようです。2日間、ありがとうございました。

■ここは親から見て職員やスタッフがとても近いと感ずます。はじめのつどいとおわりのつどいが見れるのがまた良いです。うしずは写真やスタッフ手作りのプレゼントがあるのも良い思い出になりいいですね。最後の駐車場の見送りはジーンとくるものがありました。